



お江戸松愛

2024年11月 第86号

松愛会 東京都支部
発行人 浅野 正裕
編集人 笠井 洋

パナソニック松愛会 東京都支部 支部報 <http://www.shoai.ne.jp/tokyo/>

2024年9月30日現在 支部会員数 787名

第168回 みちくさ会 「虎ノ門今昔、新虎通りから汐留へ」

9月28日に、東京メトロ銀座線虎ノ門駅に会員22名（初参加1名）が集合。10時40分頃のスタートとなりました。まずは、溜池方向に少し歩いたところにある「新聞創刊の地」。ここで讀賣新聞が明治7年に前身の日就社によって創刊されました。

新虎通りと虎ノ門ヒルズなどの建設で風景が一変した神谷町の一角に「港区立みなと科学館」があり休憩。虎ノ門ヒルズの敷地内には虎ノ門タワー連絡橋やオーバル広場など、パブリックアートと共に広大な芝生が広がっています。新虎通りを新橋方面へ歩くと「浅野内匠頭終焉の地」の石碑があります。ここは奥州一関藩の上屋敷のあった場所で、浅野内匠頭が切腹した場所です。

新橋駅前の桜田公園は小学校の跡地。ビジネスマンの憩いの場所になっています。校舎だった建物は松愛会川柳同好会の句会会場としても利用しています。

ここからJRの反対側にある汐留へ。カレッタ汐留というビルにある「アドミュージアム東京」を訪れました。ここは広告をテーマにした博物館で、昔懐かしいポスターやCM、マッチ箱など興味深い広告がたくさん。見学の後、12時25分頃の解散となりました。

本日のコースは約6kmのほぼ平坦なコースで、虎ノ門・新橋界隈の変貌をおおいに感じました。（山田）



虎ノ門ヒルズ オーバルヒルズで記念撮影

社会見学会 「アサヒビール茨城工場と昼食懇親会」

9月30日に恒例の社会見学会（東京都支部・首都圏支部共催）を実施し、東京都支部12名、首都圏支部21名の計33名に参加をいただきました。

今回の目的地は茨城県守谷市のアサヒビール茨城工場にあるスーパードライミュージアムです。

例年、東京駅からバスで移動していましたが、今回はつくばエクスプレスの守谷駅に直接集合しました。北千住からはわずか20分強で着きます。

工場見学では案内係からビールの製造工程やミニ知識を楽しく紹介いただきました。この工場の1日のビール生産量は、350ml缶に換算すると約590万本にもなるそうです。最後に地上60mの展望接待館で広々とした関東平野の景色を眺めながら、出来立てのスーパードライを試飲させていただきました。

見学後は送迎バスで守谷駅に戻り、駅前の『ひさご亭』にて昼食懇談会を実施しました。

今回は初の試みとして現地集合・現地解散をしました。「生ビール」の魅力からか、初参加、久々の参加という会員も多く、ご家族も参加されて、本当に楽しい1日を過ごして頂いたと思います。（夏井＝首都圏支部＝を一部改変）



スーパードライミュージアムで記念撮影

富士山清掃活動に参加しました

9月14日、恒例の富士北麓の産業廃棄物不法投棄の清掃活動に参加しました。参加者は松愛会会員11名と長野・新潟のパナソニック社員及び富士山クラブの方々と、総勢53名です。

当日は30度を超える暑さの中、富士山クラブの方の指導に従い瓦礫・プラスチック・木材・その他のゴミに分別する作業を約2時間行いました。

こういった活動が世の中の人々の心に響き、ゴミを捨てない社会につながっていく事ができればと願っています。また来年も参加する予定です。（報告：岡本）



清掃活動の様子